

# 予算審査特別委員会

第21号議案・平成29年度白石市一般会計補正予算(第8号)から第32号議案・平成30年度白石市下水道事業会計予算までの計12議案について、定例会2日目(2月28日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・平間知一、副委員長・菊地忠久)は、3月1日から5日までの間で審査を行いました。その結果、第27号議案・平成30年度白石市一般会計予算については、反対及び賛成の討論があり、採決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎平成29年度白石市一般会計補正予算(第8号)

## 民生費

〔質疑〕一時預かり事業について、13万3千円増額されているが、これは利用者が増えたという理解でよいか。

〔答弁〕事業施設である南保育園では、一時預かり事業における給食調理業務は業者に委託しており、今回、利用者数が当

初の見込みを超え、不足が見込まれることから、委託料の増額補正をしたものである。

## 土木費

〔質疑〕新婚家庭家賃補助金について、12万5千円増額されているが、何世帯にこの補助金を

出しているのか、現状を伺う。

〔答弁〕平成29年度見込みで81世帯となっている。

## 総務費

◎平成30年度白石市一般会計予算

〔質疑〕今回、ふるさと納税推進事業として、1千985万4千円が計上されている。その概要を伺う。

〔答弁〕現在、市のふるさと納税については、ふるさとチョイス及びヤフーのポータルサイトを活用し、寄附金の受付、御礼品の配送管理、受納証明書等の送付などの業務を市直営で行なっている。

平成30年度からはこれらの業務に加え、プロモーション支援などの業務を民間事業者に委託することにより、寄附額の増額に努めていきたいと考えていることから、今回計上したものである。

## 民生費

〔質疑〕子育て支援・多世代交流複合施設における備品購入の概要について伺う。

〔答弁〕管理用の備品として、交流スペースの机や椅子、人形劇を行うステージ、各部屋のカートン、絵本の棚やおむつ交換用のベビーベッド、授乳用のソファなどを購入する予定である。

その他の備品については、ワークショップを昨年の6月、8月の2回開催し、利用者となる子どもたちの保護者などから意見を聞き、保育士や幼稚園教諭の専門的な意見も取り入れ、現在、選定している。

具体的には、いただいた寄附金を活用し、調理の疑似体験ができるままごとセット、透明な円筒形の筒状になったサイバーホイールという遊具、やわらかい積み木のソフトブロック、ボールプールなどの整備を検討している。

なお、大型遊具については、工事費の予算に含まれているため、現在、工事を進めているところである。

## 衛生費

〔質疑〕放射能対策費について、昨年、越河小学校区の通学路における放射線量の測定・除染を行なっているが、その後は測定をしているのか伺う。

〔答弁〕除染後に業者から確実に線量が下がっているという確認をしているため、それ以降は通学路の線量は測定していない。

現在は、毎月、定点として小学校あるいは公共施設の線量を測定しているという状況である。

## 農林水産業費

〔質疑〕農業次世代人材支援事業補助金について、国の制度の年齢要件から外れる45歳から50歳未満の新規就農者に対し、市独自に交付する補助金との

ことだが、年齢以外に国の対象要件と異なる箇所はあるのか。〔答弁〕国で行なっている制度の対象要件は、45歳未満となるが、この事業は、その要件から外れる45歳以上50歳未満までの方